

# 広島AIプロセス等の国際動向

---

総務省  
2025年3月

2025年2月27日～28日、ホテルニューオータニ（東京）において、初の対面会合となる広島AIプロセス・フレンズグループ会合を開催。G7を含むフレンズグループ参加国約40か国代表や国際機関等が参加。

## 概要

- G7を含む約40の国・地域の高級実務者（局長級）や国際機関等が参加。2023年5月のフレンズグループ立ち上げ後の初の対面会合となり、**総務省（飯田特別交渉官）が議長**を務めた。
- 開会式では、**石破総理大臣によるビデオメッセージ**を上映。2日間の会合で、総務省の阿達副大臣、今川総審に加え、城内内閣府大臣、平デジタル大臣※、生稲外務大臣政務官他が参加。 ※ ビデオメッセージ
- 松尾東京大学教授や原山GPAI東京センター長が講演を行った他、OECD、世界銀行及びJICAがプレゼンを実施。参加者間で、AIの機会とリスク、AIガバナンスの在り方、国際連携等について議論。

## 会合の意義・狙い

- **G7を超えて開発途上国を含む多くの国との連携強化**を図る。
- 開発途上国に対しては、**人材育成（キャパシティビルディング）の機会**として、AI政策や広島AIプロセス等に対する理解を促進。
- 「**報告枠組み**」への各国AI開発者の**参加を促進**し、広島AIプロセスの「**国際行動規範**」等の**実効性を確保**する。

## 会合結果

- 参加各国で**フレンズグループを通じた、国際連携の強化の重要性が再確認**された。フレンズグループの活動を含む国際的なAIガバナンスにおける**日本の貢献・リーダーシップに参加各国より強い支持・賛意が示された**。
- 民間企業や国際機関等が参画し、フレンズグループの活動を支援する自発的な枠組みである「**広島AIプロセス・フレンズグループ パートナースコミュニティ**」を**立ち上げ**。マルチステークホルダーによる**協力体制を強化し、広島AIプロセスを一層促進**。



開会式の様子

- 広島AIプロセス・フレンズグループ「パートナーズコミュニティ」は、広島AIプロセスの精神に賛同する民間AI関連企業や国際機関等が参画し、フレンズグループの活動を支援する自発的な枠組み。
- 「広島AIプロセス・フレンズグループ会合」（2025年2月27日～28日@東京）において、「パートナーズコミュニティ」の立ち上げを公表。
- 同コミュニティを通じて、フレンズグループ参加国政府が、広島AIプロセスをより深く理解し実施できるよう支援するとともに、各国AI開発者の「報告枠組み」への参加を促進し、「安全、安心で信頼できるAI」をグローバルに実現することを目的とする。

## 1. 概要

- （1）**参加者**：広島AIプロセスの精神に賛同する民間AI関連企業、公的機関、国際機関等
- （2）**目的**：フレンズグループ参加国政府が、広島AIプロセスをより深く理解し実施できるよう支援するとともに、各国AI開発者の「報告枠組み」への参加を促進し、「安全、安心で信頼できるAI」をグローバルに実現する
- （3）**活動内容**：フレンズグループ会合への参加、フレンズグループ参加国政府への情報提供等。
- （4）**その他**：金銭的な負担等を含め義務等は発生しない。参加者による自発的な活動が基本。

## 2. 参加組織

➤ 2月28日の立ち上げ時においては、以下の16組織が参加を表明（今後も拡大予定）。

Amazon、Google、KDDI、Microsoft、NEC、NTT、OpenAI、Preferred Networks、SaferAI、Salesforce、経済協力開発機構（OECD）、国際協力機構（JICA）、世界銀行、ソフトバンク、富士通、楽天グループ